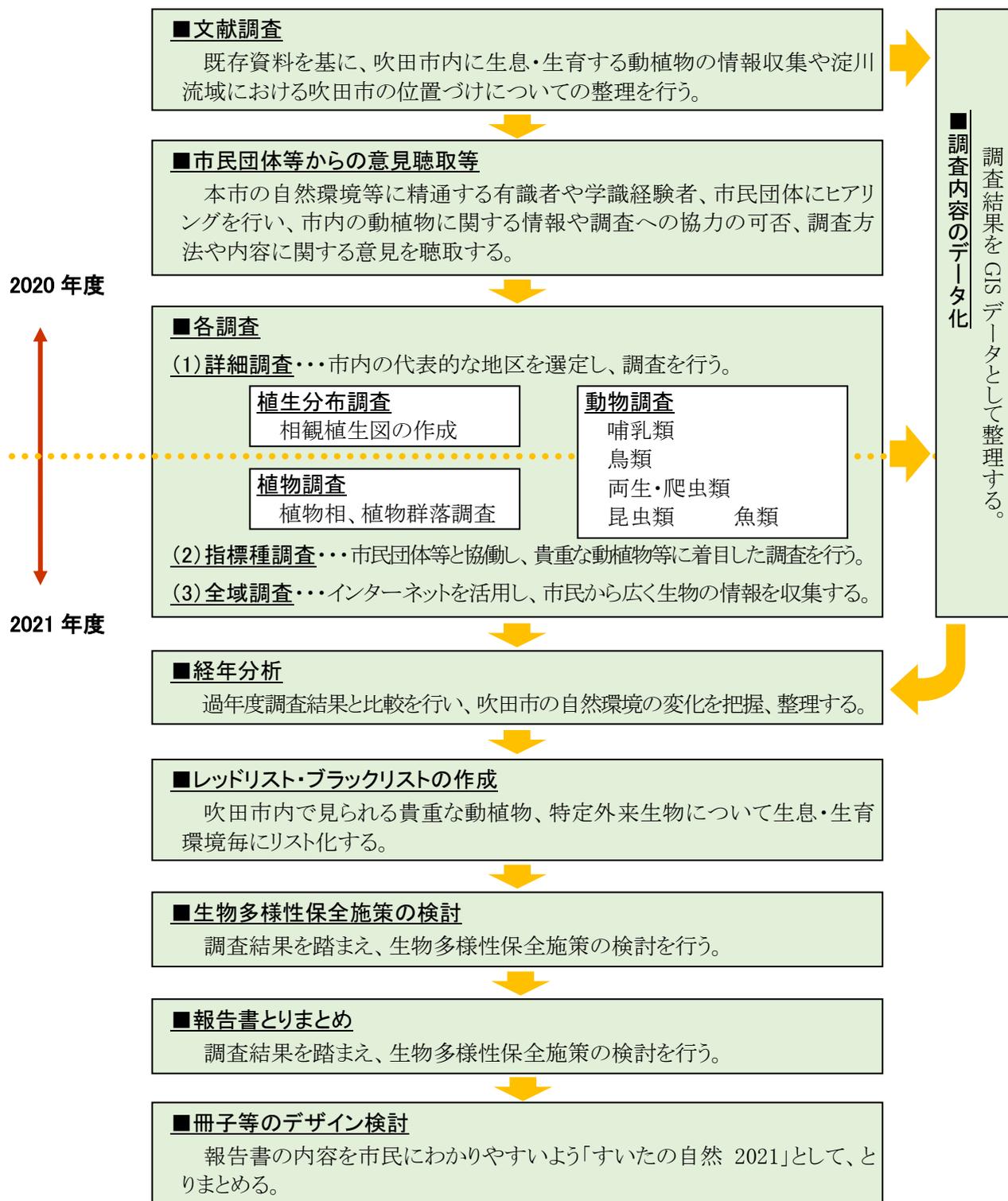


## 自然環境調査及び生物多様性保全施策検討支援業務について

### 1 目的

昨年度から2か年をかけて、新たに本市の自然環境についての調査を行い、報告書（「（仮称）すいたの自然 2021」）を作成する予定です。過去に2度、同様の調査を行っており、今回が3回目の調査となります。また、生物多様性の保全について、市民の意識向上、また、具体的に施策を推進するための検討が必要となっています。生物多様性保全施策検討のための基礎資料として自然環境調査を行うとともに、その調査結果を踏まえた市民参画による効果的な生物多様性保全施策の検討を行います。

### 2 業務概要



### 3 全体スケジュール

7月現在  
↓

	令和2年度(2020年度)									令和3年度(2021年度)																
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
1.文献調査	■																									
2.市民団体等からの意見聴取等			■																■							
3.各調査																										
(1)調査計画検討	■																									
(2)詳細調査																										
ア.植生分布調査	■																									
イ.植物調査										■			■			■										
ウ.動物調査											■			■			■									
(3)指標種調査											■			■			■									
(4)全域調査										■																
4.調査内容のデータ化										■																
5.経年分析										■																
6.レッドリスト・ブラックリストの作成																										
7.生物多様性保全施策の検討	■																									
8.報告書とりまとめ										■																
9.冊子等のデザイン検討																										
打合せ協議	●		●				●																			
環境施策調整推進会議・環境審議会		○																								

注: 7月現在 (7月) は赤い点線で示されています。

### 4 調査結果

#### (1) 文献調査

市内の開発事業に係る環境影響評価書や各種調査報告書等を収集し、市内で確認された動植物種を整理した結果、現時点では、植物 163 科 1325 種、哺乳類 7 目 11 科 18 種、鳥類 20 目 57 科 268 種、爬虫類 2 目 8 科 13 種、両生類 2 目 6 科 14 種、昆虫類 17 目 267 科 1651 種、魚類 6 目 13 科 44 種の記録を確認しています。なお、今後も補完調査を実施する予定としています。

#### (2) 市民団体等からの意見聴取

有識者 8 名、市民団体等 9 団体 21 名にヒアリングを行い、市内の生物に関する情報を提供頂くとともに、現地調査の進め方について意見を頂き、調査計画にそれらの意見を反映しました。

### (3) 各調査

#### ア 植生分布調査

2020年8月31日～9月4日に現地調査を実施し、相観植生図(図1)を作成しました。調査の結果、2010年調査時から著しく植生が荒廃している箇所は確認されませんでした。片山公園や千里丘、弘済院近辺において土地造成による更地化及びそれに伴う植生の減少が見られました。また、アカメガシワ等からなる生垣の植生がクズに覆われている箇所が多数確認されました。

#### イ 詳細調査

図2に示す調査地区で冬季、春季、夏季の現地調査を実施しました。結果については現在整理中です。

#### 【特記事項】

住宅地脇に残された小面積の法面や緑地でヤマサギソウやヒメボタルなど希少性の高い動植物が確認されました。ヤマサギソウは、レッドデータブック近畿で絶滅危惧種A、大阪府レッドリストで絶滅危惧I類に指定されており、大阪府内では、本地点を含め3箇所ですしか生育が確認されていない非常に希少な種になります。ヤマサギソウの生育地では、その他にも大阪府レッドリストで絶滅危惧I類に指定されているアイエナなど希少性の高い植物の生育が記録されています。吹田市内では市街地内の小面積の緑地にも希少性の高い動植物が見られることが特徴的です。



ヤマサギソウ

#### ウ 指標種調査

市内の8つの小学校に協力頂き、プールのヤゴ調査を実施しました。結果については現在整理中です。

また、吹田ヒメボタルの会より、ヒメボタル調査結果を提供頂いており、それらを整理する予定としています。

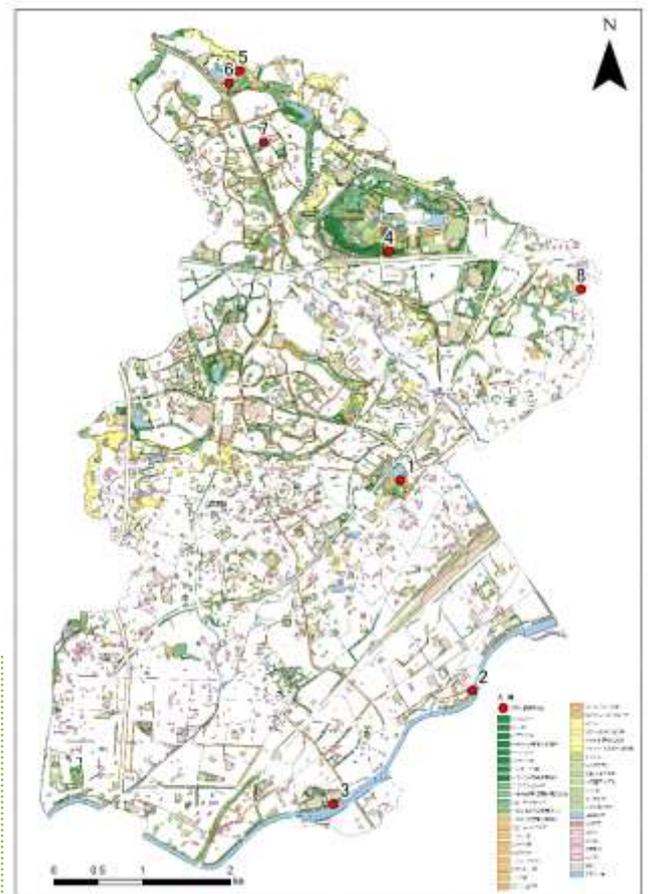


図1 相観植生図

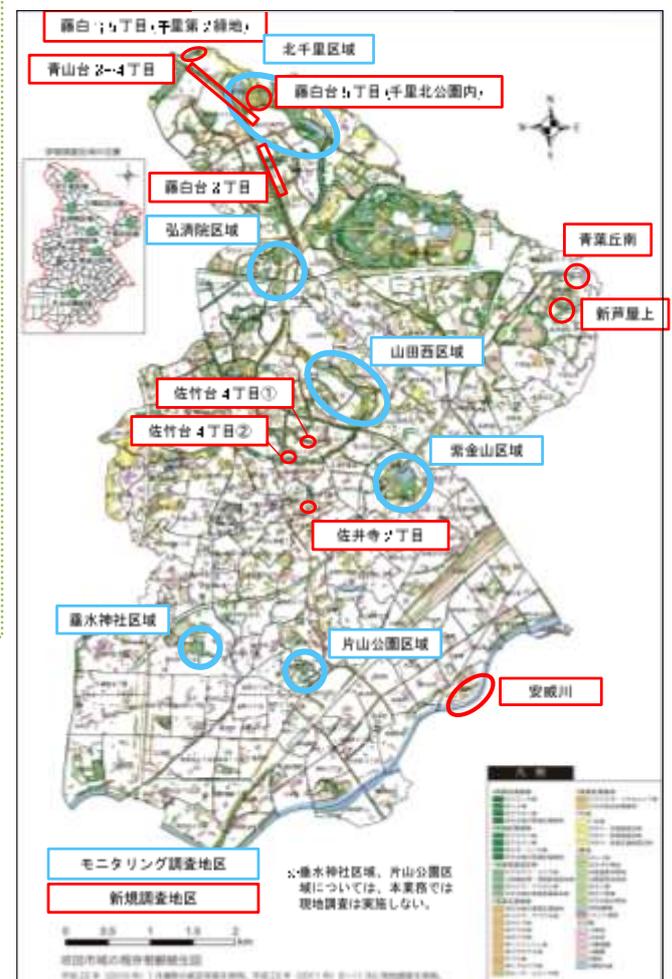


図2 詳細調査 調査地区

## エ 全域調査

環境省の「いきものログ」というシステムを活用し、吹田市内の身近な生きものや、近年分布が急拡大している外来生物等の市内全域の分布状況、哺乳類など生息数が少なく近年の生息状況が不明な種、近年生息数が急激に減っていると推測される種計 26 種について、広く一般の人から情報を収集中です。

### 【特記事項】

本調査により、市民の方からキツネの目撃情報が寄せられた結果、今回新たに中の島公園で、キツネの巣穴を確認することができました。巣穴の出入り口は合計 3 個確認され、同じ個体が利用していることが確認されました。



図 3 キツネの巣穴確認位置

写真右上：巣穴 1  
写真右下：巣穴 2

確認した巣穴では、センサーカメラによりホンドギツネの雌雄と思われる 2 個体が毎日出入りしている様子が撮影されました。一般的には、今の時期は、子育ての時期にあたります。この巣穴では、子育てに関する行動は確認されておらず繁殖状況は不明ですが、センサーカメラを設置した約 1 週間の間、毎夜間に撮影されていることから中の島公園に定着して生息していると考えられます。



巣穴 1 で撮影



巣穴 2 で撮影

センサーカメラにより撮影されたホンドギツネ

## 5 今後の予定

現地調査は、詳細調査の秋季調査、魚類の環境 DNA 調査を今後実施予定です。各調査終了後、結果をとりまとめ、生物多様性保全施策の検討等を行い、「すいたの自然 2021」を作成する予定です。